

(毎月1回10日発行 昭和58年3月10日第三種郵便物認可)



コロナ禍—
生活困窮者支援の現場から
つくろい東京ファンド
稲葉 剛さん ④面



学術会議人事介入やめよ
各地の革新懇が抗議行動
②面

全国革新懇の 3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

全国革新懇ニュース

2020.11月号

(発行日11月10日)

購読お申し込み ☎03(6447)4334
年間購読料1200円+郵送料

424

発行所 平和・民主・革新の日本をめざす全国の会
(全国革新懇) 発行人 乾 友行

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8 千駄ヶ谷尾澤ビル1階

☎03(6447)4334 FAX03(3470)1185 郵便振替 00170-5-20213

ホームページ <http://www.kakushinkon.org/> Eメール zenkoku@kakushinkon.org



このインタビューはオンラインで行いました

革新懇 インタビュー

元経済産業省官僚

古賀 茂明さん

こが・しげあき 1955年長崎県生まれ。東京大学法学部卒後、通産省(現・経産省)入省。産業再生機構執行役員、経産省中小企業庁経営支援部長など歴任。2008年国家公務員制度改革推進本部事務局審議官、09年経済産業省大臣官房付。11年、東京電力破綻処理策を提起、経産省から退職を勧告され9月辞職。15年、日本外国特派員協会の「報道の自由の友賞」受賞。著書に「日本中枢の崩壊」(講談社)「官僚の責任」(PHP新書)など多数。新刊に「日本を壊した霞が関の弱い人たち 新・官僚の責任」(集英社)

私は黙らない

I am not SUGA

明治国家を理想像とする安倍さんは、主観的には「崇高な理念」を持っているでしょう。菅さんの政治をひとことというなら理念なき政治です。「改革」と称してハンコ無くします、携帯料金下げますといえは国民受けはいいが、どんな国にしたいのかが見えない。

学術介入は憲法への攻撃

学術会議の人事介入にブレイキがかからなかったのは杉田官房副長官など官邸権力の肥大化とともに、安倍さん以上にマスコミ批判を抑え込んでいるという菅さんの自信の表れです。

しかしこの介入問題を、アベスガ政治の異質な問題とすべきではありません。これは戦後一貫して続いていた右翼的保守層と国民とのたたかいなのです。国民を日本国憲法の理念と言い換えてもいい。任命拒否の説明がないのはおかしいとの声もありますが、それは間違いだと思う。政府からどんな説明があろうと介入を許してはならないのです。あらゆる介入を排除し多様な意見を述べていくことこそ日本の民主主義、平和にとって重要だと考えつくられたのが日本学術会議なのですから。

「報ステ」あの日のこと

菅さんが内閣記者会会の全記者を対象に「パンケーキ懇談会」を開きましたが、

彼の陰湿さをよく示す一件です。あれは「全記者を俺は見ているぞ。全部知っているからな」という意思表示です。記者会見で余計なことを聞くな、気に入った奴だけいい情報を流してやる。こういうことを露骨に分からせているのです。

私は2015年3月27日、最後の出演となった「報道ステーション」で「am not ABE」という紙を掲げました。その時、名前を挙げたのは安倍さんではありません。「菅官房長官の圧力で降板することになりました」と言ったのです。

同年1月、ジャーナリストの後藤健二さんが過激派組織「イスラム国（IS）」に拘束されているにもかかわらず、安倍首相はエジプトを訪問し「ISと戦う周辺国に2億ドルの援助をする」と宣戦布告同様の演説を行ったのです。これではまるで日本人全員が戦いたがっているようではないですか。私は強い憤りで、番組で安倍首相を批判しました。「私たち多くの日本人はいかなる戦いも望まず平和を願っているのです。I am not ABEです」と。これは世界やISへ向けたメッセージでもありました。

これに菅さんが激怒したんですね。生放送中に秘書官2人から「古賀の発言はなんだ、けしからん」と猛抗議が来ました。秘書官のひとり、伊藤詩織さんへの加害者逮捕を止めた中村

現警察庁次長ですが。こうした経緯でクビとなり、最後のスタジオで「I am not ABE」を出しました。が「SUGA」も準備しておけばよかったですね。

弱い官僚がさらに弱く

少くない官僚が、自分や役所と国民の利害がぶつかった時、どうしても自分たちの利益を守ろうとする弱さを持っています。弱さを抱えた人間が強大な権力を持っているから怖いのです。私が新著のタイトルを「日本を壊した霞が関の弱い人たち」としたのもそれを示したかったからです。官僚の弱さが赤木俊夫さんを追い込みましたが、公文書改ざんを、涙を流し止めてくださいと上司に直言し、最後まで国民に真実を伝えようとした赤木さんは非常に強い人です。

菅さんは首相就任前から森友再調査はしないと表明し、安倍さんの倫理観をも継承したことを宣言しました。安倍倫理観とはつまり、「バレなければいい、バレても捕まらなければいい」ということです。こうした菅さんのもとで、弱い官僚はいっそう増えるでしょう。

臨時国会が始まりましたが、野党は、特に立憲民主党は共産党と連携していくというのなら、枝野さんと志位さんが一緒に行動している姿をもっと見せるべきです。数合わせじゃない本

気で一致団結した、菅政権とのたたかいを国民へ示すべきです。

自分が変えられないためにこれまで自分が正しいと思って行動したことで、確かに不利益はありました。天下りは全部断りましたし、テレビやラジオの仕事も無くなったからね。正直な行動はそうしたデメリットも生むでしょうが、自分を抑え込むより言いたいことを言える人生の方が気持ちいいじゃないですか。

『報ステ』最後の出演で、私はガンジの「あなたがすることのほとんどは無意味だが、それでもしなくてはならない。それをするのは、世界を変えるためではなく、世界によって自分を変えられないようにするためだから」という言葉を紹介しました。あれは視聴者に向けたというより、隣にいる古館さんとかテレビ局の人、ジャーナリストを名乗るすべての人たちへ向けた言葉です。権力批判が言いにくいとしても、言うべきだったろうという気持ちには、せめてあったはず。そのうち批判しないことがおかしいということにさえ気付けなくなってしまう。そのぐらい自分が変えられてしまう状況じゃないですか、ということを言いたかった。その警鐘はこれから鳴らしていきますよ。

（聞き手 大谷智也）